外国語活動 学習指導案

学校名 安芸太田町立加計小学校
授業者 Ｔ１　佐々木　裕美
Ｔ２　Mari Kinoshita

１ 日 時 令和２年２月５日（水）第５校時
２ 学 年 第５学年20名
３ 単元名 What would you like? 料理・値段　(We Can 1 Unit 8)
４ 単元について

○　本単元では，英語にも場面に応じた丁寧な表現があることを学ぶ。児童は，これまで学習した“What do you want?” “I want ~.”という表現を使用する場面と比べて，“What would you like?” “I'd like ~.”を使う場面は何が違うのかを考える。そして，日本語の場合もそうであるように，言葉は場面や相手との関係によって使い分ける必要があることに気付くことをねらいとしている。また，料理名を推測して単語を読む活動，料理名を丁寧に書き写す活動を通して，読むこと，書くことにさらに興味を持たせ慣れ親しませることのできる教材である。

【関連する学習指導要領における領域別目標】

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば，日常生活に関する身近で簡単な事柄について，具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと（やり取り）	ア 基本的な表現を用いて指示，依頼をしたり，それらに応じたりすることができるようにする。

○　本学級の児童は，１年時から月に２時間程度，年間 20 時間位の英語活動を行っており，外国語に触れる機会が多い。しかし，昨年度（４年生時）は，15 時間，今年度は，50 時間の授業時間数での外国語活動の実施であり，We can!や Let's Try!で学習したことが十分に定着しているとは言い難い。読むことに関しては，絵カードに書かれている英単語や黒板に書かれているキーフレーズを目にしている。児童の中には，ローマ字のきまりをもとに英単語を読もうとしている児童もいるが，文字のみが書かれている状態では，多くの児童は読むことが難しい実態である。

【外国語活動アンケート】　（肯定的な回答：%）

No	質問	第1回	第3回
1	小学校での英語の勉強は将来役に立つと思います。	95%	95%
2	外国語活動（英語）の授業以外で英語を使ってみたいと思います。	75%	75%
3	もっと英語を学びたいと思います。	90%	95%
4	外国語活動（英語）の授業に進んで参加しています。	95%	95%
5	外国語活動（英語）の授業では，英語を使う場面を考えながら活動しています。	85%	90%
6	外国語活動（英語）の授業では，日本と外国のくらしや習慣，文化などのちがいを知ることができます。	85%	90%
7	相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば，どのイラストや写真のことを話しているか分かります。	90%	90%
8	相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば，だいたいの内容が分かります。	80%	90%
9	英語でやり取りをする時には，相手の言ったことにうなずいたり，英語で返事したりしています。	80%	80%
10	英語でやり取りをする時には，会話が続くように，知っている表現を使うようにしています。	65%	75%
11	英語でやり取りや発表をする時には，自分の考えや気持ちなどを伝えています。	75%	70%

12	英語の文字（アルファベット）を読むことができます。	35%	65%
13	英語を読む時には，単語や表現の意味を考えながら読んでいます。	70%	65%
14	英語を書く時には，単語の間を空けるなど，英語の書き方のきまりを守って書いています。	45%	75%
15	英語を書く時には，単語をならべる順番を考えながら書いています。	60%	65%

アンケート結果から，アルファベットを読むことには自信を持ち始めている。ただ，「単語や表現の意味を考えながら読む」の割合が低く，やり取りと文字，音と文字とを意識している児童が少ないことがわかる。

○　指導にあたっては，特に次の４点について工夫していきたい。

①場面設定の工夫

児童にとって，英語を使ってレストランでやり取りをすることはこれまでほとんどない。そんな中，「身近な人のお祝いをレストランでしよう！」という場面設定をした。そうすることにより，児童がレストランというものを少しでも身近に感じられるかと考えたからである。

②読むことややり取りに必然性をもたせること

身近な人のお祝いという設定で，その人のために注文を取ることをさせ，相手意識を持たせたやり取りができるようにしたい。さらに，自作のメニュー表の作成作業場面で，文字だけでなく絵入りの表を作成させる。その際，文字だけの表に絵を貼るという活動を入れ，読む活動が必然的に行われるようにしたい。

③他教科等との関連を図る

家庭科では，栄養について学習している。「祖父母なら，脂っこくないものがいいかな？」「野球の優勝祝いなので，肉類やピザなどを多くしよう。」と家庭科での知識を活用しながらメニューを考えさせる。また，道徳で文字だけでなく，図やデザインと文字とでよりよく多くの人に伝えることができるという学習をしている。それをメニュー表にも活用できないかと気付かせるなど，他教科等と関連を図り学びに繋がりを持たせ，資質能力の育成を図る。

④ALT の活用場面をできるだけ多く設定すること

ALT の活用場面としては，語や文（表現）のお手本や繰り返し練習が中心である。しかし，外国の文化や見方に触れるよい機会になるように，可能な限り，ALT 本人のこと，家族のこと，イングランドのことなど，ALT その人ならではの経験や思いが伝えられる場面を設定し，異文化交流にもつなげられるようにしたい。さらに，ネイティヴの発音や文の読み方を聞く機会を増やすために，「ALT による絵本の読み聞かせ」を授業に多く取り入れる。読み聞かせを２～３時間に１回程度実施することとし，絵本の選定は，ALT に任せ，特に単元の内容に直接つながらない内容でもよいこととしている。

５　単元の目標

・意欲的に，丁寧に欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

・欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

・簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しむ。　【外国語への慣れ親しみ】

・英語にも丁寧に欲しいものを尋ねたり答えたりする表現があることに気付く。

【言語や文化に関する気付き】

6　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
○進んで，丁寧に欲しいものを尋ねたり答えたりしようとしている。 ○金額や感想など，場面や相手に応じて，必要な情報を伝え合おうとしている。	○欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 ○簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しんでいる。	○英語にも丁寧に欲しいものを尋ねたり言ったりする表現があることに気付いている。

7　使用表現・語彙

【主な使用表現・語彙】

・What would you like?　・I'd like (spaghetti).　・It's for (my brother).

・How much?　・It's (970 yen).

・家族（father, mother, grandmother, grandfather, brother, sister）　・busy　・special　・healthy・menu・meal・dessert・main・side

・数（seventy, eighty, ninety, hundred）

【繰り返しの表現・語彙】

・Here you are.　・Thank you.　・This is for (my brother).

・飲食物　・果物／野菜　・状態／気持ち　・数（100，200，・・・900）

8　単元計画（８時間）

時	主な活動	評価				表現例
		コ	慣	気	評価規準	
1	○【Food Jingle】 ○【Let's Watch and Think 1】p. 58, 59 のトルコ，インド，フランスを視聴し，Small Talk をする。 ・世界の様々な食生活を知り，既習表現を使って食べたいものを伝え合う。 ○指導者のやり取りから，単元ゴール「レストランでお祝いをしよう」という見通しをもつ。 ○ポインティングゲーム ・p. 64. 65 を使って食べ物の言い方を確認するゲームを行う。 ○【Let's Listen 1】 ・登場人物と選んだ食べ物を線で結ぶ。 Small Talk で使った既習表現との違いについて分かった事を話し合う。 ○【Let's Chant】What would you like? ○振り返りをする。			○	・英語にも丁寧に欲しいものを尋ねたり言ったりする表現があることに気付いている。	・What would you like? ・I'd like (spaghetti).

2	○【Sounds and Letters 1】 ・初めの音が同じものを見つけて○を付ける。 ○【Let's Watch and Think 1】p. 58, 59のオーストラリア，韓国を視聴し，Small Talk　をする。 ・世界の様々な食生活を知り，既習表現を使って食べたいものを伝え合う。 ○指導者のやり取りから，レストランで注文する際の丁寧な表現を思い出す。 ○【Let's Chant】What would you like? ○Small Talk ・指導者が欲しい物を尋ね，児童が丁寧な表現で答える。 ○大きい数を知る。 ・指導者が値段を尋ねることで，値段の尋ね方や金額の表現，100 以上の数字に気付く。 ・ビンゴゲームで言い方に慣れる。 ・次時の課題として値段を尋ねたり答えたりすることも含めてやり取りできるようになることを確認する。 ○振り返りをする。		○		・欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	・What would you like? ・I'd like (spaghetti). ・How much? ・It's (970 yen).
3	○【Sounds and Letters 2】 ・初めの音が同じものを見つけて○を付ける。 ○【Let's Watch and Think 1】p. 58, 59 ハワイ，ロシアを視聴し，Small Talk をする。 ・世界の様々な食生活を知り，既習表現を使って食べたいものを伝え合う。 ○前時を想起し，本時の課題を確認する。 ○数字の言い方の確認をする。 ○注文しよう。 ・【Let's Chant】What would you like? ・指導者とのSmall Talk で値段を尋ねる表現に慣れた後，メイン，サイド，デザート料理の値段を各自で設定し，ペアで注文をし合う。 ○振り返りをする。		○		・欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	・What would you like? ・I'd like (spaghetti). ・How much? ・Here you are. ・Thank you. ・It's (970 yen). ・It's (nice). ・Good choice.
4 本 時	○【Food Jingle】 ○【Let's Listen 2】 ・音声を聞いて登場人物の注文したものや値段を聞き取る。 ○指導者とのSmall Talk ・食べたいもの(メインディッシュ) ○メインのメニュー表を作ろう。 ・メニュー表に記された食べ物を推測して読み，ペア		○		・欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでい	・What would you like? ・I'd like (spaghetti). ・How much? ・It's (970 yen). ・Here you are. ・Thank you.

	でそれに一致する料理の絵を貼る。 〇注文しよう。 ・【Let's Chant】What would you like? ・完成したメニュー表を使って，ペアで１人がレストランスタッフ，もう一人が客になり，やり取りをする。 〇食べたいものを書こう。 ・メニュー表の中から自分が食べたいものを選んで書く。 〇振り返りをする。				る。 ・簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しんでいる。	・It's (nice). ・Good choice.
5	〇【Sounds and Letters 3】 ・初めの音が同じものを見つけて〇を付ける。 〇指導者とのSmall Talk ・食べたいもの（サイドディッシュ，デザート） 〇【Let's Listen 3】 ・音声を聞いて登場人物の注文したものや値段を聞き取る。 〇サイドディッシュ，デザートのメニュー表を作ろう。 ・メニュー表に記された食べ物を推測して読み，ペアでそれに一致する料理の絵を貼る。 〇注文しよう。 ・【Let's Chant】What would you like? ・完成したメニュー表を使って，ペアで１人がレストランスタッフ，もう一人が客になり，やり取りをする。 〇食べたいものを書こう。 ・メニュー表から自分が食べたいものを選んで書く。 〇振り返りをする。		〇		・欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 ・簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しんでいる。	・What would you like? ・I'd like (spaghetti). ・How much? ・It's (970 yen). ・Here you are. ・Thank you. ・It's (nice). ・Good choice.
6	〇【Food Jingle】 〇指導者とのSmall Talk ・食べたいもの（主食・スープ，飲み物） 〇主食・スープ，飲み物のメニュー表を作ろう。 ・メニュー表に記された食べ物を推測して読み，ペアでそれに一致する料理の絵を貼る。 〇注文しよう。 ・【Let's Chant】What would you like? ・作成したメニュー表を使って，ペアで１人がレストランスタッフ，もう一人が客になり，やり取りをする。 〇食べたいものを書こう。 ・メニュー表の中から自分が食べたいものを選んで書く。 〇振り返りをする。		〇		・欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現や，金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 ・簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しんでいる。	・What would you like? ・I'd like (spaghetti). ・How much? ・It's (970 yen). ・Here you are. ・Thank you. ・It's for (my brother.) ・It's (nice). ・Good choice.

7	○【Sounds and Letters 4】 ・ワードサーチ ○開店準備をしよう。 ・メイン，サイド，主食・スープ，デザート，飲み物の各担当に分かれて，メニューの値段などを考える。 ・【Let's Chant】What would you like? ・担当グループで店員と客の役に分かれて，シミュレーションをする。 ○振り返りをする。	○			・進んで，丁寧に欲しいものを尋ねたり答えたりしようとしている。	・What would you like? ・I'd like (spaghetti). ・How much? ・It's (970　yen). ・Here you are. ・Thank you. ・It's for (my brother.) ・It's (nice). ・Good choice.
8	○【Sounds and Letters 5】 ・食べ物の最初の音を考えながら小文字を書く。 ○【Let's Listen 4】 ・誰のためにどんなメニューを考えたのかを聞き取り，線で結ぶ。 ○【Let's Chant】What would you like? ○ロールプレイをしよう。 ・店員グループ，客グループに分かれ，ロールプレイをする。 ○振り返りをする。	○			・進んで，丁寧に欲しいものを尋ねたり答えたりしようとしている。 ・金額や感想など，場面や相手に応じて，必要な情報を伝え合おうとしている。	・What would you like? ・I'd like (spaghetti). ・How much? ・It's (970 yen). ・Here you are. ・Thank you. ・It's for (my brother.) ・It's (nice). ・Good choice.

9　本時の学習

（1）本時の目標

○料理を表す語句を推測しながら読むことができる。【思考力，判断力，表現力等】

（2）本時の評価規準

○料理を表す語句を推測しながら読んでいる。

（3）本時の評価基準

A基準	・メインディッシュの料理を表す６つの語句のうち，語句と絵カードとを正しく結びつけることができる数が，６（全部）である。
B基準	・メインディッシュの料理を表す６つの語句のうち，語句と絵カードとを正しく結びつけることができる数が４か５である。
C基準	・メインディッシュの料理を表す６つの語句のうち，語句と絵カードとを正しく結びつけることができる数が４未満である。

（4）準備物

・電子黒板　・メインディッシュのメニュー表　・イラストカード　・ワークシート

（5）学習の流れ

児童の学習活動	教師の支援		指導上の留意点等 ◆評価
	T1（HRT）	T2（ALT）	
① 挨拶をする。	○挨拶をする。 “Hello! How are you?” （ペアでのやり取りは後の Small Talk で行うことを伝える）	○Greeting Good after noon, everyone. How are you? What day is it today? What's the date today? How is the weather today?	
② Story Time		Read the picture book.	
③ 【Let's Listen 2】 ・音声を聞いて登場人物の注文したものや値段を聞き取る。	○「Kosei の祖母は何を注文するだろう」と投げかけ，まずは料理名，次に値段と分けて視聴させる。	○【Let's Listen 2】 ・ guess the answer with Students before listening.	・聞きたい気持ちを高めるため，何を注文するのか予想を立てさせる。
④ 指導者とのSmall Talk ・食べたいもの（メインディッシュ）	○Small Talk	○Small Talk	
T1: Kosei's grandmother ordered fried chicken for her main dish. T2: Yes. I like fried chicken. Do you like it? T1: Yes, I do. How about you? Do you like fried chicken? （児童に尋ね，Yes か No かで挙手をさせる。） No の児童に対し，What would you like for your main dish? S1: Beefsteak. T1: Oh, you'd like beefsteak. Nice choice! T2: I also like it. T1: Oh, I see. Me, too. What would you like for your main dish? （児童に尋ねる。 S2: I'd like ramen. S3: I'd like curry and rice.）			・店員と客というスタンスで，「丁寧に尋ねたり答えたりする場面」という設定を意識させる。
⑤本時のめあてを確認する。	料理名を表す語句を読んで，オリジナルメニュー表を作ろう。 ○単元全体の中での本時の授業の位置や内容を確認する。		
⑥ メインのメニュー表を作ろう。 ・メニュー表に記された食	○メインディッシュのメニュー表を見せるが，文字ばかりで分かりにくいので，写真	○Making menu sheet for main dish. ・Let students listen to sounds	・既習でない単語も入れる。 ◆料理を表す語

べ物を推測して読み，ペアでそれに一致する料理の絵を貼る。	を加えてほしいことを伝える。（道徳との関連）	of capital.	句を推測しながら読んでいる。（今回は，６人程度の児童をみとる）
⑦ 注文しよう。	○ペアでメインディッシュを注文するやり取りをすることを伝える。	○Pair Talk	・相槌を打ったり一言添えたりすることを意識させる。
・【Let's Chant】 What would you like?	・チャンツを流し，表現を確認させる。	・【Let's Chant】 What would you like?	
・完成したメニュー表を使って，ペアでレストランスタッフと客になり，やり取りをする。	・Ｔ２とやり取りの見本を見せる。	・Demonstration	
A: What would you like for your? B: Umm..., I'd like grilled fish please. A: OK. Good choice(or sure). B: How much is this? A: It's 650 yen, please. B: OK. Here you are. A: Thank you very much.			
⑧ 食べたいものを書こう。 ・メニュー表の中から自分が食べたいものを選んで書く。	○メインメニューの中から自分が食べたいものを選んで書くことを伝える。自分の記録として残しておくことを伝える。	○Help some students who are not good at writing.	
⑨ 振り返りを書き，発表する。	○振り返りを書くことを伝え，何人かに発表をさせる。	○Say some reflection to students.	
⑩ 挨拶をする。	○挨拶をする。 "Good-bye. See you."	○Greeting "Good-bye. See you."	